

# 南富良野消防総合演習 日頃の成果を遺憾なく発揮！

平成24年度富良野広域連合南富良野消防総合演習が6月24日、消防職員と消防団員、特別参加の陸上自衛隊上富良野駐屯地第四特科群第131特科大隊の隊員など合わせて100名が参加して、幾寅小学校グラウンドを会場に行われました。



小隊訓練（第3・第4分団）

自衛隊上富良野駐屯地第四特科群第131特科大隊による展示訓練では、大型台風の上陸による集中豪雨の影響により幾寅地区で河川が氾濫し、土砂崩れが発生し、甚大な災害が発生したことを想定して行われ、消防団員や多くの来賓が見守る中、偵察班・機動班・衛生班により土砂災害に巻き込まれた住宅から探索機やエンジンカッターなどを駆使し、生存者をすばやく救助しました。



自衛隊員による展示訓練



消防操法応用訓練

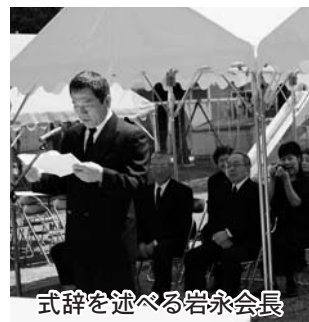
また、各分団による消防操法応用訓練や模擬火災訓練のほか、消防親睦競技として、「ホース延長競技」が行われ、防火衣の装着から放水はじめの伝合までの時間を各分団ごとに競い、日頃の訓練の成果を披露しました。

このほか、会場では第131特科大隊による指揮通信車の体験搭乗会が行われ、小学生や幼児らが搭乗を楽しんだほか、一度に300名分の主食と副食を同時に45分以内で調理できる野外炊具により、来場した町民や団員、関係者にカレーライスが振舞われました。

# 南富良野町戦没者追悼式

## 一〇三柱の英霊の冥福を祈る

先の大戦から67年目を迎え、戦没者一〇三柱の霊を慰めるため、町社会福祉協議会主催による「戦没者追悼式」が7月7日、来賓や遺族の方々51名が参列する中、忠魂碑前でおこなわれ、執り行われました。



式辞を述べる岩永会長

午前10時、サイレン吹鳴とともに参列者全員で黙祷を捧げたあと、岩永廣一朗会長が「あの悲しい歴史を二度と繰り返すことがないよう我が国の恒久平和を誓います」と式辞を述べ、来賓からの追悼の言葉に続いて、参列者が一人ずつ白菊を供え、尊い犠牲者の冥福を祈りました。



献花を供える参列者の皆さん

- 北海道
- 南富良野町
- 南富良野町議会
- 南富良野町遺族会
- 上川地区連合遺族会
- ふらの農業協同組合
- JAふらの
- 南富良野支所女性部
- 社会福祉法人 南富良野大乗会
- けん三のこば館
- クリニック
- 南富良野町 鉱業振興会
- 南富良野町 高齢者事業団
- 幾寅婦人会

なお、追悼式の挙行にあたり、次の方々からご厚志や供物が寄せられました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

# 地域貢献活動

## ありがとう

### 電子キーボード

7月13日、国道237号金山地区の橋梁改修工事を施工している旭川市の岸田組（米嶋均代表取締役様）による地域貢献活動が行われ、今年4月から金山地区に開設された「放課後子どもクラブ（通称「フレンド」）（ふれあいサロン四津谷商店）に電子キーボード1台が寄贈されました。

この日、放課後子どもクラブの子どもたちは、真新しい電子キーボードに感激し、早速弾いていました。町では今回の地域貢献活動に対し、感謝状を贈呈しました。



# 火文字「絆」

## コンクールで入選

『東日本大震災を忘れない』をテーマに日本財団が主催した「日本財団写真・動画コンクール2012」の写真部門において、南富良野スキー連盟・南富良野スキースポーツ少年団により、今年3月11日に国設南ふらのスキー場で、追悼と復興への願いを込めて行われた火文字「絆」を撮影した写真が佳作に選ばれました。

このコンクールは、大震災から1年となる2012年3月11日に撮影された写真を条件に募集され、136点の応募の中から入選（15点）しました。



# 平成24年度 本部町・南富良野町親善交流事業 南の国の真夏に挑む体験の旅

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は今年で22回目を迎え、「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月25日から29日までの4泊5日の日程で、南富良野町交流団（各小学校6年生児童29名・随員5名）が本部町を訪問しました。

6月25日早朝に本部町を出発した交流団一行は、飛行機を乗り継ぎ、午後6時に本部町に到着。児童の皆さんは、熱烈な歓迎を受け歓迎夕食会に出席し、体験の旅での抱負を述べ、よさこいソーランを元気に披露しました。また、今年1月に南富良野町を訪問した本部町の児童との再会も果たし、交流を深めました。

7月10日の解散式では、児童一人ひとりから感想発表があり、戦争の恐ろしさや悲惨さ、平和の大切さを学んだこと、美ら海水族館でのジンベエザメやマンタの大きさに感動したこと、バナナボートに乗って楽しかったこと、優しく迎えてくれたホームステイ先のご家族との交流が楽しかったことなど、沢山の体験や見聞の思い出を話していました。



翌日には、バイン園の見学や上部小学校児童との交流学習、琉球ガラス工芸やバナナボート体験を楽しみ、3日目には、児童の皆さんが一番楽しみにしていた海洋博公園内の美ら海水族館の見学や海水浴、陶芸製作の体験などを行いました。この日の夜には、ホームステイ先の家庭で、家族との交流を深めました。

4日目には本部町を離れ、ひめゆりの塔、沖縄県平和祈念資料館や平和の礎などを見学。5日目には、真っ黒に日焼けした姿で全員元気に帰町しました。